

シルバー人材センター



シンボルマーク

ニュース

ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原3丁目1番1号

電話番号 (098) 929-1361

http://www.okinawasisi.com

6月末現在の会員数504人

(男性338人・女性166人)

令和6年度定時総会開催 事業報告・決算承認、役員選任決議



(右から) 上原秀雄理事長挨拶の後、祝辞を述べた。
人材センター連合の翁長聡会長



公益社団法人沖縄市シルバー人材センターの令和6年度定時総会が6月14日、シルバーワークプラザ2階大会議室で開催され、令和5年度の事業報告・決算の承認と役員の選任について審議、原案どおりそれぞれ決議された。定時総会は会場の都合上、今年度も会員からの委任状に基づいて実施。理事や地区長、就業現場リーダーらによる出席のもと、代理人による議決権を行使した定時総会となった。(2, 3面に関連)

報告	議事
報告第1号	議案第1号
	議案第2号
	議案第3号
	議案第4号
令和6年度事業計画及び収支予算	令和5年度事業報告
	令和5年度収支決算報告
	役員選任
	理事長に対する権限委任



監査報告をする
比嘉伸雄監事



(右から) 議事進行は浜比嘉副理事長
議案を説明する仲宗根事務局長



司会進行は上江洲
就業相談員

定時総会は同日午後1時30分に開会。就業相談員の上江洲勝さんの司会で進化した。最初に、上原秀雄理事長が挨拶。続いて、沖縄県シルバー人材センター連合の翁長聡会長が祝辞を述べた後、桑江朝千夫沖縄市長並びに瑞慶山良一郎市議会議長からの祝辞を仲宗根正史事務局長がそれぞれ代読した。

議事進行の議長には、浜比嘉宗明副理事長を選出。会員総数492人中、350人(出席者21人、委任状329人)の過半数で総会成立を宣言。議案第1号から第4号まで審議、すべて原案通り承認された。報告事項として、令和6年度事業計画及び収支予算について、5月23日開催の第2回理事会において、承認された旨の報告があった。

第3回
理事会新理事長に浜比嘉宗明氏
総会終了後の理事会互選で選出

第3回理事会で理事長の選定について審議する新理事ら

新理事による最初の第3回理事会が、6月14日開催の定時総会終了後、同じ会場で開かれた。定款に基づく互選で理事長の選定が行われ、新理事長に浜比嘉宗明氏(越來・宮里中校地区)が選出され、副理事長は後日の理事会で大城博理事がみなし決議で選ばれた。

理 事 (再任)
喜納 愛子
(美東・東)理 事 (再任)
仲宗根 弘
(美 里)副理事長
大城 博
(美東・東)理 事 長
浜比嘉 宗明
(越來・宮里)理 事 (新任)
仲里 栄信
(山 内)理 事 (新任)
比屋根 正一
(美 里)理 事 (新任)
高吉 満弘
(美 里)理 事 (新任)
牛道 敏行
(コ ザ)監 事 (新任)
長峯 みどり
(コ ザ)監 事 (再任)
比嘉 伸雄
(コ ザ)理 事 (新任)
奥原 弘子
(安慶田)令和6年度
新役員紹介

役氏	職名
中校地区	

新理事長就任あいさつ



去る6月14日に開催された「令和6年度沖縄市シルバー人材センター定時総会」終了後の理事会においてご承認を頂き、新理事長に就任しました浜比嘉でございます。

会員の皆様並びに関係各位の皆様一言で挨拶申し上げます。

私は、平成22年9月に入会、平成24年からは越來・宮里中校地区の地区長、平成28年から理事、平成30年からは、副理事長に就任し現在に至ります。また、本センターが公益社団法人へ認定移行後も、理事として今までかかわってまいりました。当シルバー人材センターは昭和59年に設立され、40年が経過いたしました。

この間、行政機関などの積極的な援助や市内企業及び市民皆様方の温かいご支援のなかで、会員、役職員と事務所職員の、固い絆と日々の努力によって、着実に成長し地域社会に寄与してまいりました。

このような中、コロナウイルス感染症の拡大により、ここ約3年間は社会経済活動が制限されてまいりましたが、今年になりマスク着用などの制限が緩和され、社会生活・活動も正常化する中で、経済の持ち直しが期待されるところです。

しかしながら、当シルバー人材センターでは会員数が減少傾向にある一方、物価高騰や定年制の延長、またインボイス制度やフリーランス法の導入などが、センター事業に大きな影響を及ぼしております。

こういう時こそシルバー人材センター事業の理念「自主・自立・共働・共助」のもとに、微力ではありますが会員、役職員一丸となって、センター事業をこれまでも増して法令の遵守や効率的な組織運営と健全な財政運営、そして高齢者の方が入会したくなるような魅力ある組織づくりに取り組んでまいります。

つきましては、関係機関ならびに市民の皆様のお一層のご支援とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

令和6年6月14日

理事長 浜比嘉 宗明

前理事・監事の役員7名を表彰 3期務めた上原秀雄前理事長に花束贈呈

6月14日開催の定時総会で役員表彰があり、東條正躬さん（美東・沖縄東中校地区）、塩川初江さん（美里中校地区）、須田勝さん（特別会員）、渡口正美さん（特別会員）、小橋川啓さん（安慶田中校地区）、比嘉榮徳さん（山内中校地区）の前理事6名と前監事の安次富正文さん（特別会員）の合わせて7名の役員に感謝状が授与された。シルバー人材センターの役員として就業の確保と生きがいの創出や事業運営の適正化に尽力するとともに、活力ある地域社会づくりに多大な貢献が認められたもの。感謝状贈呈の後、理事長として3期約6年にわたりその重責を務



めてきた上原秀雄前理事長に対し、これまでの労をねぎらうとともに感謝の意を込めて事務局職員から花束が贈られた。

任期満了により退任した上原前理事長は「在任中はコロナ禍で大変な時期もあったが、難局を乗り越えることができたのは、役職員をはじめ、会員皆様のご理解とご協力によるもので改めてお礼を申し上げます。今後ともシルバー人材センターがますます充実発展することを願っています」と語った。

第4回 理事会

みなし決議で副理事長に 大城博理事を選定

左記議案について「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条」及び「定款第38条」の規定により、理事全員が書面でもって同意の意思表示をしたため、理事会決議を省略し、みなし決議となった。

議案第1号「正会員の入会」について、10人(女性4人・男性6人)が承認され、その結果6月25日現在の会員数は504人(女性166人・男性338人)となった。
なお、5月の退会者は1人。

議案第2号「副理事長の選定」について、大城博理事を選定することで議決され、議案第3号の「令和6年度安全・適正就業推進強化月間実施要綱」(5～6面に掲載)については、原案通り承認された。

令和6年5月の主な実績では、会員数494で33人の減(▲6%)、就業実人員280人で39人の減(▲13%)、就業延人員2657人で368人の減(▲13%)、配分金約1472万円で約267万円の減(▲18%)、契約金額約1830万円で約328万円の減(▲17%)となった。

(対前年比同月比)

連合と合同安全パトロール実施 厳しい暑さ続き 体調は万全に



崎原G&知念G(越来城水辺公園)



具志堅G(若夏公園)

具志堅グループの皆さん



連合との合同安全・適正就業パトロールが梅雨明け直後の6月21日、若夏公園で草刈就業中の具志堅グループ(具志堅馨リーダー)と崎原、知念両グループ(崎原正光・知念吉信リーダー)が就業中の越来城水辺公園の2ヶ所で開催された。

連合の我那覇宗孝指導員は「梅雨明け早々から真夏日で厳しい暑さが続いているので、体調を万全に整えて作業に臨むこと」と体調管理の徹底を促した。仲里栄信安全推進員は「ハチの活動が活発になる時期でもあるので、作業の際には刺されないよう気を付けてほしい」と注意を呼び掛けた。



知念グループの皆さん＝越来城水辺公園



崎原グループの皆さん＝越来城水辺公園

7月**令和6年度「安全・適正就業推進強化月間」実施要綱****目 的**

少子高齢化の進展による労働力人口の減少傾向が続いており、さらに進展する超高齢社会において、社会活力や経済活力を維持するためには、高齢者の活躍・社会参加が求められるところとなり、シルバー人材センターに寄せられる期待は一層大きなものとなっている。

このような社会の期待に応えるには、その原動力となる会員の拡大を図ることが不可欠であり、そのためには「安全で魅力あるシルバー人材センター」を実現し、多様な知識と経験を持つ高齢者の入会を促進することが必要である。

会員の就業にとっては特に、無事故、無災害での安全・安心の就業を実現することが重要であり、健康管理や事故防止対策による安全就業の確保と法令順守に努める必要がある。

近年は会員の高齢化が進んでいることから身体機能の低下も含めて健康管理に関しては特に注意を払う必要がある。

このため、令和6年度安全・適正就業推進計画に基づき、7月を「安全・適正就業推進強化月間」と定め、連合と拠点センターが一体となって、安全・適正就業に対する意識の高揚に努めることとする。

1 「安全・適正就業推進強化月間」の取組み

(1) 期 間 令和6年7月1日（月）～31日（水）

(2) 取組内容

- ① 「安全・適正就業推進会議」の開催
 - ・日 時：令和6年7月17日（水）午後1時30分
 - ・場 所：シルバーワークプラザ2F 大会議室
- ② 横断幕やのぼり等の掲揚
- ③ 県シルバー連合主催の「安全大会」等への参加
- ④ その他、安全管理教育等の開催

2 安全スローガン

令和5年度～令和7年度 シルバー人材センター全国統一スローガン

『安全は 無理せず 焦らず 油断せず』

これに加え、今年度に限り墜落・転落事故の撲滅を念頭に緊急スローガンとして次の通り掲げることとする。

『大丈夫 その慢心が 命取り』

3 安全・適正就業への取組み

安全・適正就業の取組みについては、「安全掲示板」「ホームページ」「ニュース ゆんたく」等を活用した情報の提供を行うとともに、会員自身の健康管理と事故防止対策の意識高揚を図るための取組みを行う。

(1) 安全就業

- ア 就業前のラジオ体操と作業ミーティングを徹底し、会員の健康状態を把握
- イ 単独就業是正の徹底
- ウ 危険予知活動（KYM）と安全保護具（安全帽、命綱等）使用の徹底
- エ 法面（斜面）における安全就業の推進

6面に続く

5面から続く

- オ 就業現場の「安全巡回パトロール」の実施強化
- カ 安全衛生教育及び各種講習会等の充実・強化
- キ 刈払機、機械器具及び安全保護具等の点検整備の実施強化
- ク タイヤ止め使用の徹底と「高齢運転者等に係るガイドライン」の活用及びアルコール飲酒チェックの徹底
- ケ 「安全就業ガイドブック」「安全・適正就業マニュアル」等の配布と活用
- コ 熱中症予防・対策の徹底と注意喚起、情報等の提供

(2) 適正就業

- ア 「適正就業ガイドライン」を活用した、適正な就業の徹底
- イ 臨時的・短期的・軽易な就業の徹底
- ウ 発注者からの「指揮命令」や「混在就業」等の排除
- エ 「受注票」「契約書」「請書」等における不適正な記載の確認及び就業実態の自主点検

4 会員の健康管理の推進

- (1) 定期的な住民健診の受診奨励の推進
- (2) 加齢による身体機能低下の自覚促進（健康講座や体力チェック等の推進）
- (3) 十分な睡眠・休養の奨励（免疫力の維持）
- (4) 「エイジフレンドリーガイドライン」への取り組み※

5 熱中症への対策

- (1) 会員への熱中症予防管理
- (2) 症状が出たときの対処方法と周知
- (3) 就業時間の短縮

※エイジフレンドリーガイドライン
高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドラインで、厚労省が令和2年3月に策定。高齢者でも安全に働き続けることができる職場環境の改善や健康状況が把握できる取り組みを実施するとしている。

